



栗原市立鶯沢中学校閉校記念誌



ありがとう ～みらいにつなぐ栗原市閉校記念誌～

2013.03

🎵	校歌・校旗				1
🏛️	校章・旧校歌・生徒数の推移				2
🗨️	あいさつ				
	鶯沢中学校の閉校に寄せて	栗原市長	佐藤 勇		3
	鶯沢中学校の閉校に寄せて	栗原市教育委員会 教育長	亀井 芳光		4
	閉校に寄せて	栗原市立鶯沢中学校 校長	後藤 壮治		5
	鶯沢中学校の閉校に寄せて	栗原市立鶯沢中学校 P T A会長	千葉 進		6
📖	学校の概要				7～8
👤	歴代校長				9
👤	歴代P T A会長・副会長				10
🕒	鶯沢中学校沿革史				11～13
✍️	寄稿文				
	～歴代校長より～ 鶯沢中学校の閉校に寄せて	第9代校長	堀越 龍治		14
	雪の日の思い出	第14代校長	門傳 忠實		14
	～学校評議委員より～ 鶯中生魂の継承を	学校評議委員	高橋 長人		15
	～卒業生より～ 母校に思いを寄せて	平成3年度卒業	山口 沙織		15
	当時の思い出	平成5年度卒業	後藤 雄樹		16
	思い出	平成15年度卒業	後藤 秀美		16
✍️	在校生のページ				
				1年生	17
				2年生	18
				3年生	19
📷	思い出のアルバム				20～39
✍️	あとがき				
		栗原市立鶯沢中学校 教頭	千葉 睦子		40



鷺沢中学校 校歌

和久 日出丸 作詞
坂本 登 作曲

1. は さ ま の か わ の き し り う つ と ご ろ
 2. か ぜ が ま さ の わ や か う な つ く は り る こ け ま き と や こ ま う の ど
 3. こ が ね な み か う え し て は な さ き に お め う て
 ら ん に ほ り ゆ く め め ろ の ひ た か
 う た た ご え み つ つ る に よ り き ま な び や と に め て
 こ こ ひ い み す き ゆ く ち か い も か た げ く
 と お い ど り ら く の に ち か い も か た げ く
 う な か お き わ れ ら に の ひ き ぞ か 一 み り あ
 す 、 む わ い れ ら に に の ひ き ぞ か 一 み り あ
 り れ ま な か お き わ れ の う ら 一 に の ひ き
 れ あ な か あ ち め の う ら が く に の ひ き
 ぞ か み り あ り れ



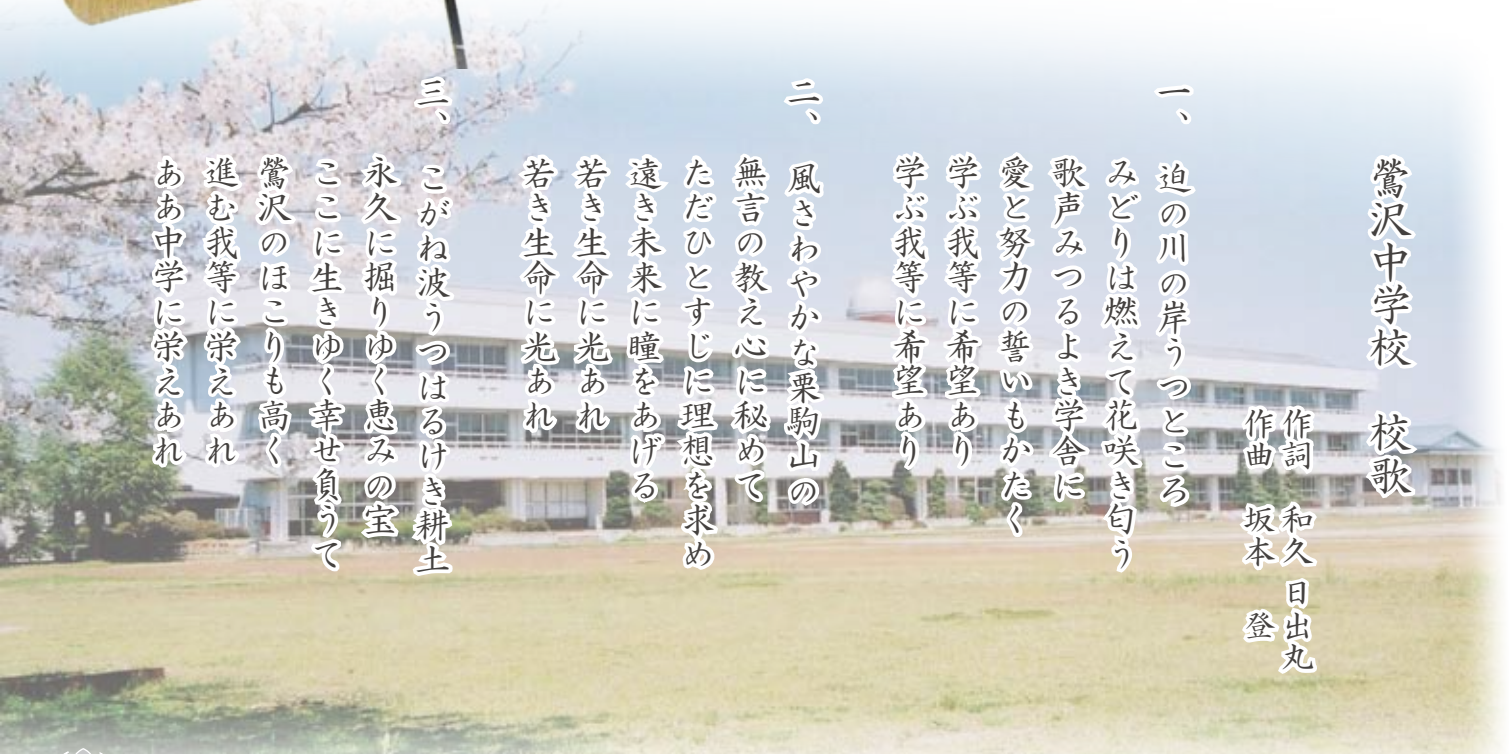
鷺沢中学校 校歌

作詞 和久 日出丸
作曲 坂本 登

一、 迫の川の岸うつところ
みどりは燃えて花咲き匂う
歌声みつるよき学舎に
愛と努力の誓いもかたく
学ぶ我等に希望あり
学ぶ我等に希望あり

二、 風さわやかな栗駒山の
無言の教へ心に秘めて
ただひとすじに理想を求め
遠き未来に瞳をあげる
若き生命に光あれ
若き生命に光あれ

三、 こがね波うつはるけき耕土
永久に掘りゆく恵みの宝
ここに生きゆく幸せ負うて
鷺沢のほこりも高く
進む我等に栄えあれ
ああ中学に栄えあれ



校章の由来



心身ともに健康で円満な人間に育つことを願い、3枚の梅の若葉は「友情」をもち「希望」にむかって「努力」する生徒の姿を、中央の円は「人の和」を、三角形は栗駒山をあらわし、本校の「限りなく発展すること」を象徴している。
開校記念日：4月22日

校木：梅



旧校歌・旧校旗



鶯沢中学校校旗

鶯沢中学校 校歌
作詞 高橋 済
作曲 海鋒 義美

一、 仰げば栗嶺さやかに晴れて
清澄の大気胸にしむところ
黒い大地にがっしと立って
われら鶯沢中学生

二、 若木だ若木伸びゆく若木
どんどん汲みとる知識の泉
ぐんぐん一路真実求む
われら鶯沢中学生

三、 生命のよろこび血潮は熱い
風切る健脚広いぞ胸は
すさぶ嵐に負けない力
われら鶯沢中学生

四、 大樹だ大樹雲つく大樹
巨木めざしてスクラム組んで
いつか世界をがっちり背負う
われら鶯沢中学生



細倉中学校校旗

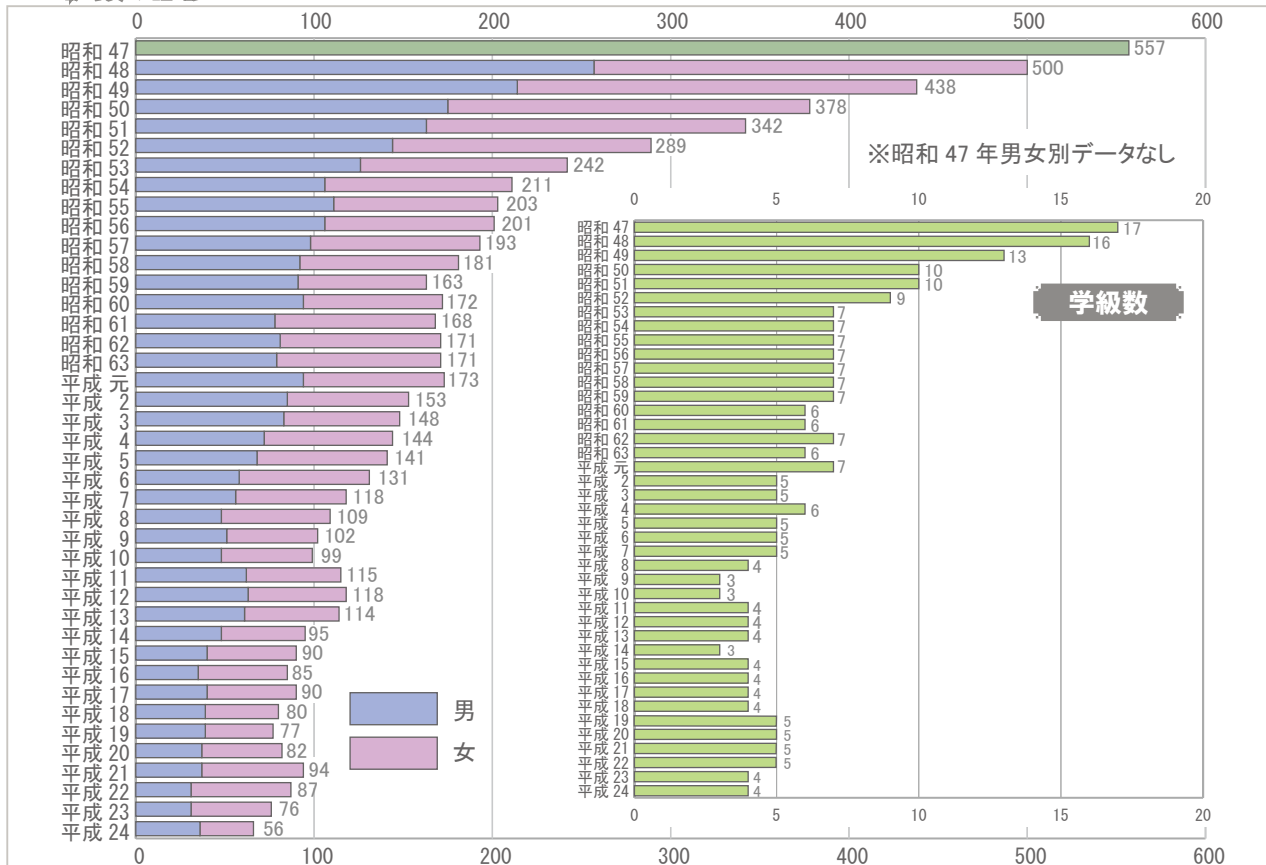
細倉中学校 校歌
作詞 扇畑 忠雄
作曲 海鋒 義美

一、 空高く風かがやきて
そびえたつ栗駒の山
たくましく集えるわれら
よるこびに三年を学ぶ
清き理想に心つくして
守り立つべし文化の光り

二、 谷青く水せせらぎて
迫川つきせぬ流れ
いさぎよく生い立つわれら
やすらかに三年をあげむ
高き希望に瞳をあげて
はぐくみゆかん真理のいのち

三、 底深く土掘りゆきて
潜むもの尊き宝
新しく進まんわれら
すこやかに三年をきとう
遠き未来に誓いを固く
とこしえにあれ故郷のほこり

生徒数の推移



鶯沢中学校の閉校に寄せて

栗原市長 佐藤 勇

栗原市の北西部に位置し、雄大な栗駒山のふもと自然豊かな地域にあり、子どもたちにとってかけがえのない学びの場であった鶯沢中学校が閉校するにあたり一言ごあいさつ申し上げます。

鶯沢中学校は、昭和47年に鶯沢中学校と細倉中学校の統合により開校しました。以来41年にわたる長い歴史と伝統を築き、鶯沢地区の発展と地域文化の進展に重要な役割を果たしてきました。この間多くの優れた人材を世に送り出し、それぞれ県内外において幅広い分野でご活躍されております。これは、歴代の校長先生をはじめ、教職員、関係者の皆様の並々ならぬご尽力と鶯沢地区の皆様の温かいご支援の賜であり、ここに深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

長い歴史の中で、保護者の皆様をはじめ地域の方々の学校教育に対する深いご理解とご協力により、健全な子どもたちの育成やPTA活動が活発に行われてきたのが鶯沢中学校であります。

学校では「聡明」「誠実」「健康」を教育目標に掲げ、一人一人の生徒が学ぶ楽しさと、共に学び合う喜びや成就感を実感できる教育活動を進めてこられました。平成14年度から16年度には省エネルギー教育推進モデル校として指定を受け、環境学習の実践に努めてきました。また、平成17年度からは文部科学省の指定により、「学力向上拠点形成事業推進校」として3年間にわたり学習面の充実を図る実践に取り組み、子どもたちの学力向上を図ってこられました。

また鶯沢中学校ならではの活動である「うぐひす活動」は、学校と地域がひとつになり長い年月をかけ大きな成果を挙げてきました。神楽、八ツ鹿踊り、白鶯太鼓や茶道など古くから地域に伝わる伝統芸能や日本の伝統文化の習得をとおり、子どもたちはさぞ豊かな学びを体験することができたのではないかと思います。また地域の方々を講師として学んだことは、子どもたちに地域のよさをあらためて感じとり、地域の一員としての自覚を高め、よりよく生きようとする気持ちを育むことにもつながっていると思います。

このように学校と地域がひとつとなり、築き上げてきた伝統は、皆様にとってかけがえのない財産であると思います。これまで鶯沢中学校を巣立った皆様にとりましても、母校の閉校は何事にも耐え難い寂しさであり、愛惜の念も深いものがあると推察いたします。しかし、ここで歴史が終わるのではなく、これまで培ったよき伝統は確実に次代へと受け継がれていくと信じるものであります。

栗原市といたしましても、教師が子どもたちとしっかり向き合い、一人一人の子どもたちが学校生活に満足感や達成感を得られるようよりよい教育環境づくりを目指し、「学府くりはら」の実現を目指していく所存です。また、鶯沢中学校が育んだ歴史と伝統が長く受け継がれ、新しい地域の輝かしい歴史が築かれていくことを心から御祈念申し上げ、閉校記念誌発刊のあいさつといたします。

旧佐野住宅（映画 東京タワーロケ地）



鶯沢中学校の閉校に寄せて

栗原市教育委員会
教育長 亀井 芳光

平成25年4月、鶯沢中学校は栗駒中学校と再編し、新生「栗駒中学校」として現在の栗駒中学校校舎でスタートすることになりました。再編にあたり、ご理解とご協力をいただきました鶯沢地区の皆様にご心より感謝申し上げます。

鶯沢中学校は昭和47年に細倉中学校と統合し、その後昭和49年4月に現在の場所に校舎が建てられ、多くの卒業生を送り出してきました。「聡明」「誠実」「健康」という教育目標のもと、子どもたちの健やかな成長を願い、豊かな教育活動が繰り広げられています。学校の特徴のひとつとして、鶯沢地区に伝わる八ツ鹿、神楽、創作太鼓の白鶯太鼓、茶道などの伝統芸能を学ぶ「うぐひす活動」が挙げられます。地域の方々が講師となり、ふるさとに伝わる貴重な財産を伝えようとするその姿から、子どもたちはその技能だけでなく、多くのことを教わっていることと思います。昭和61年の始まりから、およそ四半世紀が経ちます。長きにわたって学校教育にかかわり、豊かな学びの時間を与えてくださった講師の先生方には心から敬意を表するものです。

また、平成17年度から平成19年度にかけて、「学力向上拠点形成事業推進校」として文部科学省の指定、さらに平成22年度には宮城県教育委員会から「学力向上サポートプログラム事業」の指定を受け、子どもたちの学習面での一層の充実を図るべく実践研究に取り組んでこられました。

しかしながら、少子化による児童生徒数の著しい減少や急激に変化する時代に生きる子どもたちの将来を考えると、学校再編は避けて通ることはできません。再編するにあたり、これまで地域と共に歩み続けてきた学校や慣れ親しんできた校舎と別れることは、地域の皆様にとっては、寂しさや愛惜の念を禁じ得ないことと思います。

しかし、これまで脈々と受け継がれてきた鶯沢中学校の輝かしい歴史と伝統が、新たな学校の歴史を創造する力になっていくことを信じてやみません。これからは鶯沢と栗駒が大きなひとつの地域として、「地域とともに歩む 新しい学校」の創造に向けてひとつになっていくことを願っています。新たに仲間となる栗駒中学校の子どもたち、保護者や地域の皆さんとの交流を深め、「再編してよかった」と語られる新しい学校を創り上げていただきたいと願っております。その実現のため、教育委員会は地域・家庭そして学校との連携を大切にしていきたいと考えております。

結びに、閉校にあたり、これまで長きにわたり鶯沢中学校を温かく見守り、支えていただきました地域の皆様にご心より感謝を申し上げまして、閉校記念誌に寄せる言葉といたします。



栗原市観光坑道細倉マイパーク



閉校に寄せて

栗原市立鶯沢中学校
校長 後藤 壮治

本校は、昭和47年4月、細倉中学校と鶯沢中学校が統合し、鶯沢町立鶯沢中学校としてスタートし、平成17年には、町村合併により栗原市立鶯沢中学校と改称して現在に至っています。この間、幾多のすばらしい人材を輩出し、地域・文化の拠点として輝かしい歴史と伝統を築いてきました。そして、今年平成25年3月をもって閉校することになりました。

時代の流れ、社会情勢の変化とはいえ、この鶯沢地区から中学校がなくなることは誠に愛惜の情耐えがたいところがございます。開校以来、当地区の教育を支えてこられた歴代の校長先生を中心とした諸先生方の教育に対する熱意と、堂々と学校づくりに励まれた地区の皆様のご協力的なご協力ご理解にあらためて深甚なる敬意と感謝の意を表すものです。また、PTA活動に対しては、会員の皆様はもちろん、地区の皆様にも援助やご協力をいただき、活動を盛り立てていただきましたこと等、頭の下がる思いがいたします。

さて、私は本校に奉職して3年になります。鶯中生の「よさ」として、他校に誇れるもののひとつに「元気のよい挨拶」があります。訪問されたお客様方から、『生徒さんの挨拶が明るく、素晴らしいですね』とよく言われました。明るく素直な生徒たちです。これらを育ててきたのは、先輩方や教職員が築き上げてきた校風によるものですね。

脈々と受け継がれた伝統と歴史ある鶯沢中学校。最後の生徒となった諸君は、本校での思い出とともにたくさんの体験・経験を糧に、励みに、これからも強く明るく生活して行ってほしいと思います。再編される新生「栗駒中学校」でも多くの仲間とともに新たな歴史を築き上げていくものと確信しています。

最後に、これまで本校にお寄せいただきましたPTA・地区の皆様の暖かいご支援・ご協力に、さらには、閉校にあたり、物心両面にわたりご支援を賜りました栗原市当局・教育委員会に重ねて感謝申し上げますとともに、鶯沢地区の発展と地区の皆様、そして、教育に携わった数多くの皆様、卒業生の皆様のご多幸とご発展を心より祈念し、挨拶といたします。





鶯沢中学校の閉校に寄せて

栗原市立鶯沢中学校
PTA会長 千葉 進

鶯沢中学校の41年の歴史を閉じるその年の、PTA会員の代表として寄稿させていただきます。これまで、記録や記憶に残る数多くの卒業生を輩出してきた学校ですが、私もこの中学校を30年も前に学び、卒業した生徒です。3年間という短い学校生活は誰もが同じ時間を過ごすわけですがいまだに記憶が残っております。この学校が閉校する寂しさは閉校準備に携わると強く感じました。

またPTAの目線から見ますと校舎の思い出については、宮城県沖地震から東日本大震災まで、数回の大地震に被災しながら最小限の破損で校舎本体は無事に済んでいた事実を確認すると生徒を安全な学校に通わせる安心感がありました。また私は、校舎の近くに住んでいますので小さい頃から慣れ親しんできました。地区の運動会などの会場でもあり、鶯沢地域の住人が集う場所でもありました。

しかし時代の流れには逆らえず、栗駒中学校との再編により閉校となることに決定しました。私はこの再編会議が動き始めた昨年より縁あってPTA会長を務めさせていただきました。新しい学校の事を考えることだけでなく、これまでの学校の幕を下ろす事など幅広い分野の打ち合わせがありました。

しかし、基本は、生徒が安心して通える学校環境を望んだことと、地域の住人や卒業生、在校生にとって学校の思い出が残ることを念頭に参加しました。完全に達成できなかったかもしれませんが、生徒の皆さんにはこれからの栗駒中学校での活躍を期待します。

最後にこれまで本校の教育を熱心に指導して頂いた鶯沢中学校の歴代校長先生始め諸先生方に感謝いたします。また学校環境を整える活動を支えて頂いた地域の皆様、PTA会員の皆様にも同様に感謝いたします。これから始まる栗駒中学校にも同様のご支援をお願いします。



学校教育目標

聡明

よく考えて、真剣に学習する生徒



誠実

思いやりがあり、正しく判断する生徒



健康

粘り強く、体を鍛える生徒



学区について

- 鶯沢地区は栗駒山の山麓から南へ貫流する二迫川の流域と、千百年の歴史を持つ鉾山の周辺に東西11km、南北7kmにわたり広がる地区であるが、時流の変化にともない鉾山は昭和63年3月閉山を余儀なくされ、人口が急激に減少している地区である。
- 地域の人々は穏やかであり教育に強い関心を持っている。しかし、基盤産業を失ったこともあるが、両親ともに地区内外に就労する家庭が多く、教育について学校依存の傾向が見受けられ学校に対する期待も大きい。
- 昭和47年、旧町内2校が実質統合した本校は、学校・家庭・地域一体となって、心豊かでたくましい生徒の育成を目指して努力をしてきている。
- 平成17年4月1日、栗原郡内の10町村が合併して新市（栗原市）に移行する。それに伴い、鶯沢町立鶯沢中学校から栗原市立鶯沢中学校に変更。



学校周辺地図

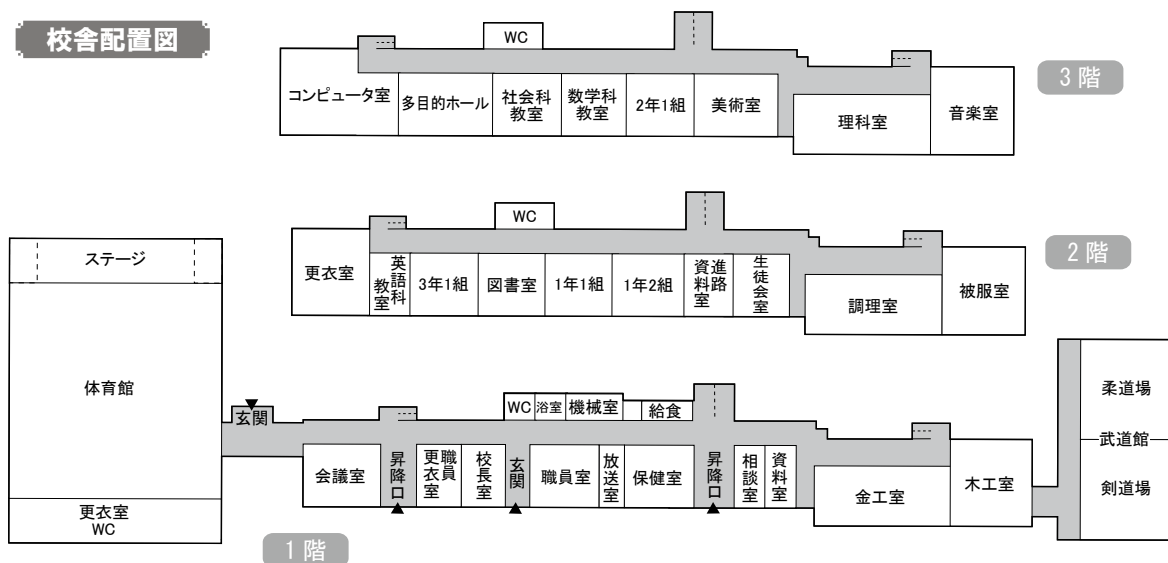




校舎のようす

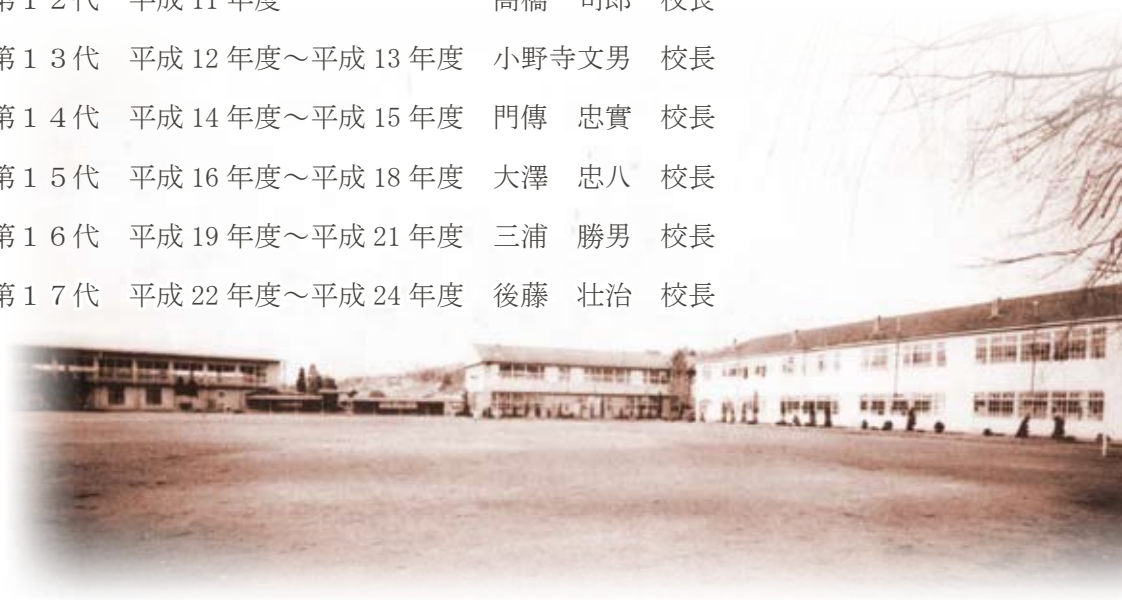


校舎配置図





初代	昭和47年度～昭和48年度	菅原 達雄	校長
第2代	昭和49年度～昭和50年度	小和田 清	校長
第3代	昭和51年度～昭和55年度	近江鉄太郎	校長
第4代	昭和56年度～昭和57年度	丹野 了	校長
第5代	昭和57年度～昭和59年度	伊藤 正男	校長
第6代	昭和60年度～昭和62年度	菅原 昭	校長
第7代	昭和63年度～平成元年度	小野寺 敏	校長
第8代	平成2年度～平成4年度	千葉 奎悦	校長
第9代	平成5年度～平成6年度	堀越 龍治	校長
第10代	平成7年度～平成8年度	石川 正幸	校長
第11代	平成9年度～平成10年度	氏家 鴻堂	校長
第12代	平成11年度	高橋 司郎	校長
第13代	平成12年度～平成13年度	小野寺文男	校長
第14代	平成14年度～平成15年度	門傳 忠實	校長
第15代	平成16年度～平成18年度	大澤 忠八	校長
第16代	平成19年度～平成21年度	三浦 勝男	校長
第17代	平成22年度～平成24年度	後藤 壮治	校長





年度	PTA会長	副会長
昭和47年度 (鶯沢教場) (細倉教場)	小野寺家継 野崎 義雄	後藤 博 小下 文子 佐々木幸子 近藤 学 花尻 美幸
昭和48年度	小野寺家継	後藤 博 小下 文子
昭和49年度	小野寺家継	村木清三郎 後藤 博 羽沢きよみ 小下 文子
昭和50年度	小野寺家継	小野寺武夫 宮崎美津子 狩野千鶴子
昭和51年度	小野寺家継	小野寺武夫 宮崎美津子 佐々木貞志 蘇武 光子
昭和52年度	小野寺武夫	高橋 一馬 宮崎美津子 木沢 勇 高橋 京子
昭和53年度	高橋 一馬	日下 富雄 酒谷 輝子 木沢 勇 高橋 京子
昭和54年度	三村 幸吉	木沢 勇 狩野 実 高橋 京子 淵本利美子
昭和55年度	木沢 勇	蘇武 正平 淵本利美子
昭和56年度～昭和57年度	木沢 勇	蘇武 正平 小田嶋けい子
昭和58年度	鈴木 信夫	門伝 勝美 三浦美喜枝
昭和59年度～昭和60年度	菅谷 博志	鈴木 孝雄 熊谷 靖子
昭和61年度	菅谷 博志	佐々木頼房 狩野 恵子
昭和62年度～平成元年度	高橋 貴徳	高橋 潔 菅原美佐子
平成2年度	高橋 貴徳	佐々木和男 高橋せつ子
平成3年度	高橋富美雄	佐々木和男 高橋せつ子
平成4年度	佐々木和男	鈴木 信夫 菅原 喜美
平成5年度	菅原 登	高橋 和男 高橋 信恵
平成6年度	小野寺正明	小野 良孝 後藤とも子
平成7年度	小野寺正明	菅原 正行 後藤とも子
平成8年度	高橋 徳視	山田善太郎 高橋 よし
平成9年度	高橋 徳視	後藤 勤 高橋 よし
平成10年度	高橋 洋幸	津軽 宗男 高橋 幹子
平成11年度	高橋 洋幸	津軽 宗男 高橋 紀代
平成12年度	津軽 宗男	高橋 清喜 佐々木弘子
平成13年度	三塚 浩明	高橋 実 佐々木弘子
平成14年度	高橋 実	佐々木正弘 狩野美恵子
平成15年度	高橋 実	氏家 典次 鈴木 三幸
平成16年度	高橋 実	長沼 宏 市川 悦子
平成17年度	佐藤 忠実	芳賀 博秋 狩野 桂子
平成18年度	佐藤 忠実	狩野 桂子 菅原 哲雄
平成19年度	佐藤 忠実	菅原 哲雄 蘇武 初美
平成20年度～平成21年度	高橋 悟	小野寺一也 高橋 燈子
平成22年度	高橋 悟	櫻井 正浩 菅原 千恵
平成23年度	千葉 進	櫻井 正浩 菅原 千恵
平成24年度	千葉 進	菅原 千恵 後藤 長志



旧鶯沢教場



旧細倉教場



年度	歴代校長	代	生徒数	学級数	学校の歴史	
昭和 47	菅原 達雄	初代	557	17	4月	鷺沢町立鷺沢中学校開校 旧鷺沢中、細倉中学校に2教場を設置
					4月	統合中学校開講式並びに入学式を教場ごと挙行
					9月	校歌制定発表会
48			500	16	3月	新校舎竣工
					3月	屋内体育館竣工
49	小和田 清	第2代	438	13	4月	県福祉教育普及指定校
					9月	応援歌制定
						第22回 県中総体男子団体初優勝
50			378	10	4月	校庭暗渠排水溝完成
					6月	バックネット完了
					9月	部室・砂場工事完了
51	近江 鉄太郎	第3代	342	10	4月	ソフトボールバックネット完成
					6月	裏庭舗装完成
52			289	9	1月	福祉指定校発表会（福社会館）
53			242	7	3月	武道館落成
					6月	町民テニスコート完成
					10月	武道館周囲舗装完成
54			211	7	9月	屋体換気窓完成
					10月	梅園工事
55			203	7		
56	丹野 了	第4代	201	7		
57	伊藤 正男	第5代	193	7	10月	屋体用玄関完成
		8/1付			3月	裏庭舗装完成
58			181	7		
59			163	7	10月	県指定部活動推進校発表
60	菅原 昭	第6代	172	6	10月	県道徳研究大会発表
61			168	6	11月	県民大学ふるさと文化祭クラブ公開
62			171	7	4月	中学校教育40周年記念式典
63	小野寺 敏	第7代	171	6		
平成元			173	7	4月	ボランティア活動普及事業協力校
2	千葉 奎悦	第8代	153	5	11月	宮城県民会議より生徒会表彰
3			148	5	8月	焼却炉屋根新設
					11月	校舎大規模改造（第1期工事）
					3月	体育館通路南側庇新設 校舎東側通用口の改装
4			144	6	4月	環境教育モデル校指定
					11月	校舎大規模改造（第2期工事）



梅園工事（昭和54年）



年度	歴代校長	代	生徒数	学級数	学校の歴史
平成 5	堀越 龍治	第 9 代	141	5	10 月 校舎大規模改装（第 3 期工事） 2 月 コンピュータ教室完成 2 月 学校図書館改修、書架設置
6			131	5	4 月 進路指導推進校（県教委指定）
7	石川 正幸	第 10 代	118	5	10 月 進路指導公開研究会 「夢を持ち自ら進路を切り開く生徒の育成」 2 月 武道館外壁、屋根塗装 3 月 体育館ステージ幕一式改装
8			109	4	2 月 校庭車両進入禁止柵設置
9	氏家 鴻堂	第 11 代	102	3	4 月 生徒指導推進モデル地区指定 7 月 生徒指導推進モデル地区総会 8 月 校庭暗渠工事完成 2 月 生徒指導推進モデル地区シンポジウム
10			99	3	2 月 生徒指導推進モデル地区実践発表会 2 月 下水道工事完成 3 月 生徒指導推進モデル地区あゆみ発刊
11	高橋 司郎	第 12 代	115	4	8 月 水道管更正工事 校内放送設備更新 10 月 コンピュータ更新
12	小野寺 文男	第 13 代	118	4	6 月 防犯灯整備 1 月 テラス改修 体育館周辺舗装整備 3 月 部室外装整備
13			114	4	8 月 体育館床塗装
14	門傳 忠實	第 14 代	95	3	8 月 エアコン設置 3 月 特殊学級設置のための教室及びトイレの改修
15			90	4	
16	大澤 忠八	第 15 代	85	4	7 月 自転車置き場転倒防止柵設置 9 月 テニスコート照明設置 *校舎及び体育館耐震診断 10 月 コンピュータ室機器更新 11 月 体育館トイレ・更衣室改修 外部トイレ照明設置 1 月 コンピュータ室壁面クロス張替 身障者対応トイレ設置及び洗濯室改修 2 月 校内通信システム（電話機）設置 体育館ボイラー改修
17			90	4	4 月 栗原郡内 10 町村合併に伴い新市（栗原市）へ移行 文部科学省指定学力向上拠点形成事業（確かな学力形成のための実践研究事業）～平成 19 年度



コンピュータ教室



年度	歴代校長	代	生徒数	学級数	学校の歴史
平成 17	大澤 忠八	第 15 代	90	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長室エアコン取付 ・ 武道館照明修理 ・ 武道館火災報知器交換修理
18			80	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館扉修理 ・ 外テラス足洗い場改修 ・ 電話ナンバーディスプレイ導入
19	三浦 勝男	第 16 代	77	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情緒障害学級新設 <p>11 月 文部科学省指定学力向上拠点形成事業（確かな学力育成のための実践研究事業）公開研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健室湯沸かし器取付 ・ 3 階防火用扉交換修理 ・ 体育館耐震工事 ・ 部室屋根塗装  <p>さくら給食（平成 19 年）</p>
20			82	5	<p>11 月 第 3 5 回宮城県中学校道徳教育研究大会 栗原地区大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館外部階段修理 ・ プール飛び込み台等防水塗装 ・ 東階段手すり修繕 ・ 消防設備修繕 ・ 体育館ステージ前幕修理
21			94	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピュータ更新 ・ プールろ過装置修繕 ・ バックネット南側排水路修繕 ・ 体育館防球ネット・ステージ中幕修繕 ・ 地下タンク修繕
22	後藤 壮治	第 17 代	87	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校舎南側通路タイル修繕 ・ 校舎南側足洗い場排水溝修繕 ・ 体育館照明器具修繕 ・ 避難器具改修工事  <p>プール清掃（平成 22 年）</p>
23			76	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館窓災害復旧工事 ・ 体育館高架水槽修繕 ・ 体育館暖房機修繕 ・ 消防設備修繕
24			56		2013. 2. 24 栗原市立鶯沢中学校閉校式



鶯沢中学校の閉校に寄せて

第9代校長 堀越 龍治

生徒数の減少や経済優先等々の要因により栗駒中と統合し、新たな栗駒中学校と生まれ変わる為に閉校となると聴いた時は非常に残念でなりませんでした。隣県には町村立の小中学校それぞれ数多く見られるのに、宮城では栗原市に限らずだが、何故、昭和から平成と合併を急ぎ進めるのかと思いました。

平成6年は早魃の年で鶯沢中の校庭には暗渠工事施工の跡を芝草が枯れてはっきりと描いて見せてくれたことを鮮明に覚えています。

翌7年には阪神淡路大震災が起きました。生徒達は懸命に募金活動を展開し見舞金を被災地に送金しました。心温まる生徒達の生き方を見た思いでした。

また、三つのC「チャンス」「チャレンジ」「チェンジ」の実践。様々な機会に自らの課題解決の時と捉え、挑戦し、自分自身を変革・成長させていく姿勢が見られると先生方から話を聞いた記憶があります。

挨拶が良く、欠席や遅刻する生徒が少なく「いじめ」も無かったと思っています。

ゆとり教育の一環として実施された総合学習は、先生方の計画立案と実践プロセスの準備は大変な苦労がありましたが、父母・地域の方々の協力と熱意には感激しておりました。風景の良い広い校庭と、桜をはじめとする樹木の刈払いと手入れへの協力など、生徒たちはその姿から学ぶものが多々あったと思います。それが普段の学習活動に現れたのです。

優れて和やかな、それでいて果敢に目標に立ち向かう生徒。PTAや地域の方々の協力によること大ですが、その下支えは教職員の教育活動への甚大な努力が見逃せないと感慨しきりです。

それについても「適正規模校」の適正とは何を以って目指すのか。「人間教育」の原点に鶯沢中学校はあったと思われてなりません。閉校は真に残念。



廃品回収（平成6年）

雪の日の思い出

第14代校長 門傳 忠實

私は、平均すると週に一回位の割で、鶯沢中学校周辺へマイカーを走らせる。我が家から20分で行けるという近さもあるが、近くの土手から鶯中の校舎とグラウンドを眺めるのが好きなのだ。目を閉じると、部活動に汗を流す生徒たちの顔・顔・顔。そして掛け声まで聞こえてくるから不思議である。

あれは冷えの続いた2月初旬のことだった。4時頃目を覚まして外を見たら、粉雪が激しく舞い、それこそ一寸先も見えない程、積雪も15cmは越えていた。少し早目に学校に行って雪掻きをしなればと思い、6時半に家を出た。まだ薄暗くて「多分誰も来ていないだろう」と予想しながら、降り頻る雪の中ハンドルを握った。校門に入ったのは7時頃である。驚いた。駐車場には既に5台の車。私は、急ぎ足で職員室に向かい、先生方に声を掛けた。「お早うございます。こんな早い時間にご苦勞様、感謝感激」。「校長先生こそご苦勞様です。来るの大変だったじゃないですか」。教頭先生はじめ5人の先生方が温かく応じてくれた。中に、普段はゆっくり学校に来る2人の若い先生がいることもうれしかった。この人たちと一緒にいたら、きっと素晴らしい学校が創れると感じたものです。

ところが更に大きな感動が待っていました。私たちが雪掻き作業をしていると、次々と登校してくる生徒たちが、「先生、バトンタッチ」と言って、先生方から道具を受け取り、汗を光らせながら雪掻きをします。スカートをはいた女子生徒が私のところに来て「校長先生、年とった人が雪掻きをすると腰を痛めますよ」と言って、無理矢理私の手からスコップをとり作業を始めました。

こんなことを思い出しながら、あの橋に行って穏やかな流れと栗駒山を見つめるのです。

ここに来ると、私は何時も優しい気持と満ち足りた心に出会えるからです。



雪掻き



鶯中生魂の継承を

学校評議員 高橋 長人

昭和47年鶯沢教場、細倉教場で鶯沢中学校が開校、昭和49年新校舎が完成実質スタート、落成式で宮城県町村会長の千葉築館町長が謡曲を浪々と披露したのが印象的でした。

平成18年度より学校評議員をお引き受けし、大澤忠八先生、三浦勝男先生、後藤壮治先生ご三方の、校長の学校運営に参加させて頂き僅かながらアドバイスできたかと思いつつも、反対に多くを学ぶことが出来ましたこと感謝申し上げます。

「聡明・誠実・健康」を教育目標に掲げ、「生徒が輝き元気で鶯沢中学校で学んでよかった」と実感できる学校づくりにより、「よく考え、真剣に学習する生徒・思いやりがあり正しく判断する生徒・粘り強く、体を鍛える生徒」をめざす生徒像として、多くの優秀な人材を輩出してきたのは、歴代の校長先生と諸先生方の並々ならぬ努力と、地域のご協力や関係機関のご指導の賜であります。

特に、昭和61年から実施している「うぐひす活動」は、伝統芸能の後継者育成と地域力向上に甚大な功績を挙げると共に、豊かな人間性を育み、今、全国的に問題となっています「いじめ」なども皆無であり、訪れる方々からも称賛をいただいていますこと、ご承知のとおりです。

学校再編による鶯沢中学校の閉校は、新たなる目覚め「鶯沢中学校」から「栗駒中学校」へ、名前は変わっても、本質は変わらず。これまで築いた校風を、先輩の知恵と努力に感謝し、これから築く校風へ繋いでいくことにより、希望に満ちた明るい栗駒中学校が誕生することでしょう。

これからも地域の一員として、鶯中生が新栗中生魂構築の一助として、支援を惜しまないと思っています。 鶯中生 志大なれ！



授業の様子（昭和49年）

母校に思いを寄せて

平成3年度卒業 山口 沙織

わたしは、平成元年に鶯沢中学校に入学しました。その年の入学生は、鶯沢小学校から52名、細倉小学校から6名の計58名でした。在籍していた頃は校舎の改装工事も行われました。生徒数は少なかったのですが、その分、先生方との距離を近くに感じながら、友人たちと過ごした3年間は、充実したものでした。

当時から、地域の方の協力をたくさん得て、様々な活動を行っていました。

その一つが、クラブ活動です。地元の方々が講師となり、楽しみながら取り組むことができました。私が当時、所属していた茶道クラブでは、地域の方が公民館で指導してくださり、茶道に親しむことができました。この活動が楽しみで、3年間所属しました。他にも、八ツ鹿や日本舞踊、白鷺太鼓等のクラブがあり、熱心に指導してくださいました。

文化祭でも多くの方の協力をいただいて実施することができました。当日は、たくさんの方が来校し、生徒や保護者と共に文化祭を盛り上げてくれました。

このように、鶯沢中学校は、生徒の数が決して多くはありませんでしたが、地域の方に支えられた素晴らしい学校だったと思います。

また、先生方には、熱心に、温かく指導していただきました。今でも忘れられない言葉があります。ある先生が、「辛いときこそ、気持ち強くもって乗り越えていこうと思うことが大事。」と教えてくださいました。その言葉が心に響き、今でも何かあると、前向きに向かっていると思えるのです。

鶯沢中学校で経験したこと、学んだことは今のわたしの原点になっています。

41年の歴史が終わり、母校が閉校することはとても寂しいですが、新しい学校でも、鶯沢のよき伝統が生かされ、今後も新しい歴史が紡がれていくことを信じています。

みなさんのご活躍をお祈り申し上げます。



文化祭・茶道クラブ（平成2年）



当時の思い出

平成5年度卒業 後藤 雄樹

時代の流れか、栗原市に限らず学校の統廃合・再編がここ数年急速に進んでいる。いよいよ我が母校「鶯中」も統合するとの話を聞いたのはつい先日のことだ。そんな中、今回の原稿依頼があり、昔の懐かしい時代を思い起こす良い機会を頂いたと感謝している。

人の記憶は曖昧であり、遠い過去の記憶は時間の経過とともに美化されるようで、中学生時代を改めて振り返ると楽しかった思い出だけがよみがえってくる。

部活動、委員会活動、クラブ活動、生徒会活動と勉強以外は本当に一生懸命取り組んでいた気がする。また、私の在学していた平成3年から平成5年の間には、校舎の大規模改修も実施され、きれいで快適になった校舎で生活できたことも良い思い出だ。そのような中、特に印象に残っているのはやはり「頭髪自由化運動」であり、その実現である。

当時の男子中学生は、入学とともに「坊主頭」と決まっていた学校も多く、思春期真っただ中の中学生にとって、坊主か否かは大きな問題であった。「鶯中」自体も20年近くその伝統(校則)が続いていたのだ。しかし、我々の先輩方が「頭髪自由化」の運動を起こし、私達の代で実現することができた。目標だった修学旅行までに実現することはできなかったが、この活動は鶯中の歴史を変え、大きな達成感を得るには十分なものだった。また、自由化の先にある「自由」と「責任」というものに初めて向き合った良い経験でもあった。



ジュニア議会(平成5年)

何かを変えること、何かが変わること、その瞬間は人が成長する大きなチャンスだと思う。それは自分を取り巻く環境の変化でも言える。鶯中生の皆さんの前にはこれから統合という大きな変革が待っているが、変化に不安はつきものだ。変化のない人生などない。それを楽しみ、自分自身の成長の糧にできるような皆さんであってほしいと思う。頑張れ先輩たち!

思い出

平成15年度卒業 後藤 秀美

3年間過ごした思い出がたくさん詰まっている母校がなくなるのは寂しいものです。全員が小学校からの持ち上がり、クラス替えもないのが当たり前で、私が3年生の時の全校生徒は90人でした。

中学校に入学したての春、女子バスケ部を作ろうとしましたが、それもやはり人数が少ない為に叶うことはなく、私はバレー部に入部しました。当時はバスケをやりたいかと思った時もありましたが、バレーボールという新しいスポーツを始めたことで、世界が広がった様に感じます。大学ではバレーボール愛好会に所属していたのですが、それも中学でバレーボールに触れていたからこそその選択肢だったと思います。今になって考えると、バスケとバレー両方を体験することができて良かったと思っています。



中総体(平成15年)

クラスが一つ、小学校から9年間ずっと同じメンバーだったからこそ、成長していく中で新しい発見があったり、頑張っている姿を見て励まされたり、時にはぶつかったり多くの変化がありました。このメンバーで過ごす学校生活が当たり前すぎて、高校へ進学しみんなそれぞれの道を歩み始めることをなかなか実感できなかったことも良い思い出です。卒業式当日はものすごい大雪で、嵐の様なクラスだった私たちの卒業式にぴったりだねといろんな先生に言われたことも覚えています。

鶯沢中学校の歴史は幕を閉じますが、これからは栗駒中学校として新しい歴史が始まります。先輩のみなさんには、鶯沢中学校の誇りを持ち、尚且つこれからは栗駒中学校の生徒として自分自身を輝かせる最高の場所で、一生懸命中学校生活を楽しんでください。そしてかけがえのない充実した日々を過ごしてください。





～鶯中での思い出～

<p>部員が少ないが、 栗西に勝って。 "2位" だったこと!!</p>	<p>鶯中最後の 少ない人数でも 先輩と笑え たこと!!</p>		<p>みんなで協力 して新人戦で "2位" になれたこと!!</p>	
<p>みんなで協力 して14人だけ いろいろなことを 乗り越えてきたこと!!</p>		<p>新人戦で 栗西に勝った こと!!</p>		<p>14人という人数で 栗中の交流が 栗中生と仲良くなれ たこと。</p>
<p>新人戦で 一回勝て ました。</p>				
<p>除せんと業 でつかえなが たが心がか ンドかいつか えるようにな ったこと。</p>			<p>新人戦で 2位になれ たこと。</p>	
		<p>みんなで、 優勝を目指 したリレー 大会</p>		<p>クラスみんな には、志が 多くて、迷惑をか けてしまいます。 でも、優しく接し てくれます。</p>
<p>"最高の 友達に 出会えたこと"</p>		<p>栗中との合同 練習で 栗中生と仲良 くなれたこと。</p>		<p>皆と一緒に 学んで、授業 を受け、一緒 に笑ったこと。</p>

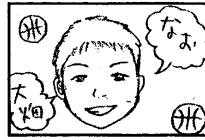




鶯 中 あ り が と う !



今までどうもありがトッス。
おつかれチャーン。



2年間、ありがとうございました。
鶯中 最高だー!



2年間、
どうもありがとうございます。



鶯中での楽しい2年間
ありがとう!



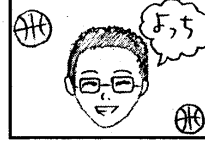
鶯中、楽しかった。
本当に2年間ありがとう!



今までありがとう!!



いろいろな思い出を、
ありがとう。感謝!



鶯中での2年間!!
ありがトウゴザイマス。



廊下を走って
すいませんでした。



短い間だったけど、
ありがとう。



この2年間、楽しく過ごさせて
もらってありがとう。鶯中!!

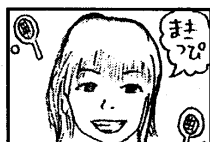


鶯中での2年間、自分なりに頑
張ることができました。
ありがとう。



鶯中での生活は楽しかった。
2年間ありがとー!

平成24年2年1組一同



2年間 ありがとう。
鶯中 最高!



この2年間でいろいろな思い出
ができました。
鶯中 最高!!



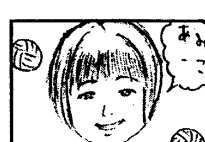
楽しい学校生活をありが
と。鶯中大好き。
鶯中 最高!!!



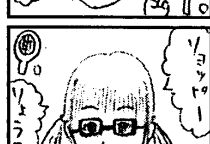
今までありがとう。
2年間だったけど、たくさんの
思い出をありがとう!!



今までありがとう。いろい
ろな思い出ができました。
鶯中 大好き!



たった2年間だったけど、とて
も楽しかった。ありがとう。



今までありがとう! たくさ
んの思い出ができました。
鶯中 好き!!!



2年間、本当にありがとう。たく
さんの思い出をありがとう。
鶯中 大好き!!!




今までありがとう。楽しい思
い出いっぱい作れた!!
鶯中 サイコー!!!



鶯中で楽しい思い出がたく
さんできた! 今までありがとう。
鶯中 大好き!!!



しり大会
サイコー!!



鷺中祭
楽しかった!!




3年間
メチャ楽しかった。
みんな
ありがとう

交友祭
サイコーに
楽しかった!!




鷺中は、永久に
不滅です。

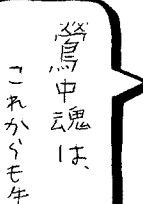


3年間
毎日、すごく
楽しかった!
特に鷺中祭が
楽しかったなー。



♥鷺♥中♥祭
楽しかった
フューー!!

3-1 All Members Message



鷺中魂は、
これからも生き続ける

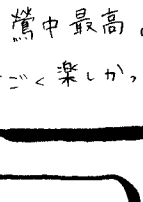


鷺中祭楽しかった!!
鷺中生で良かった♡

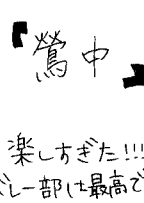


鷺中祭
サイコーに
楽しかった

鷺中祭
サイコーに
楽しかった



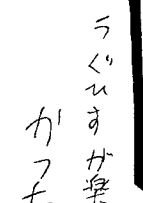
鷺中最高! 鷺中祭
すごく楽しかった!!



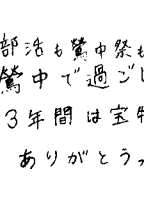
「鷺中」
楽しかった!!!★
バレー部は最高でした!!




チヨ-鷺中
サイコー☆
鷺中祭楽しかった。



らくみおが楽し
かった!!

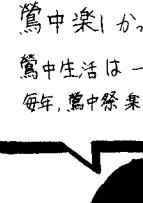


部活も鷺中祭も...
鷺中で過ごした
3年間は宝物☆
ありがとう!!



鷺中世界で
一番
大スキ
鷺中祭もめちゃ回サイコー!!

鷺中ありがとう!!
みんな大スキ♡
毎日学校に行くのが
楽しかったです。



鷺中楽しかった〜!!
鷺中生活は一生の思い出!!!
毎年、鷺中祭楽しかった♪



3年間
ありがとう。♡♡
鷺中>>>Love
交友祭楽しかった。







昭和47年



昭和48年







昭和51年



昭和52年



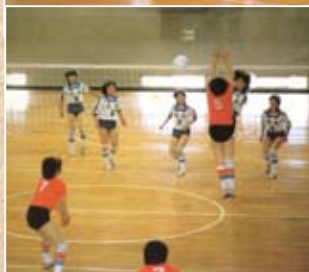
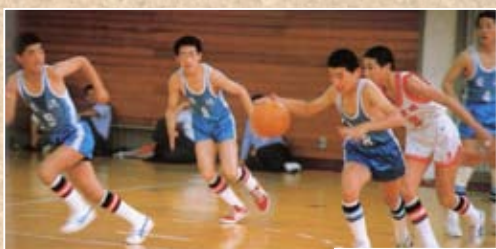


昭和53年



昭和54年





昭和55年

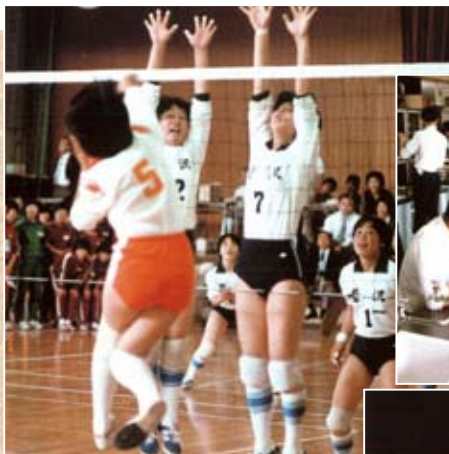


昭和56年





昭和57年



昭和58年





昭和59年



昭和60年





昭和61年



のちのうぐひす活動のはじまり…

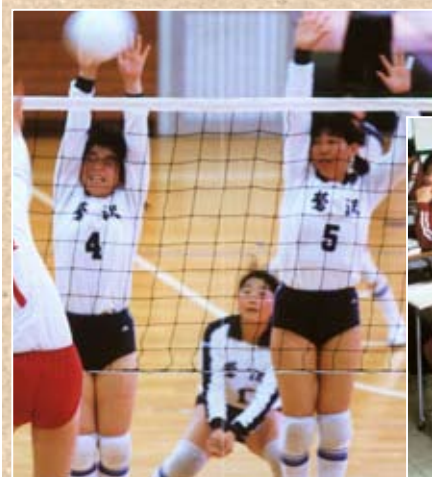


昭和62年





昭和63年



平成元年





平成2年



平成3年





平成4年



平成5年





平成6年



平成7年



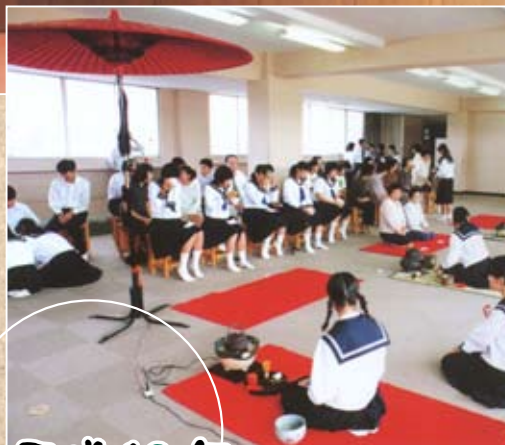
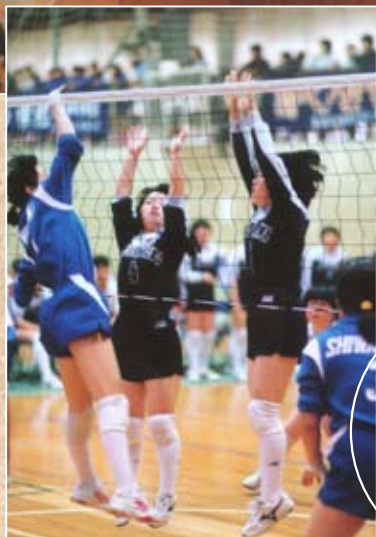


平成 8 年



平成 9 年





平成10年



平成11年





平成12年



平成13年







平成16年



平成17年





平成18年



平成19年





平成20年



平成21年





平成22年



平成23年





あとがき

栗原市立鶯沢中学校
教頭 千葉 睦子

「来年は、この校舎はどうなるんですか?」「もったいないですよね…」。
昨年度の大震災をうけ、校舎内の壁には多くの亀裂が入りました。少しずつ痛みも目立ち始めました。それでも、吟味して建てられた校舎はまだまだ頑丈で、除染作業で見違えるほどきれいにしていただいた校庭もこれからもっともっと、という思いが募ります。本当にもったいなく、惜しい限りです。

そんな中で生徒たちの日常は変わらず、いつものように明るく元気で目の前のことに一生懸命でした。と言うより、いつも以上に「鶯中として最後だから」という強い思いをもって取り組んでいました。そこに悲壮感などはみじんもなく、自分たちが「最後の鶯中生」という自信と誇りに満ちていました。そんな姿を見る度に、これが長い間培われてきた鶯中の校風なのだとあらためて思いました。自分たちがやるべきことは、一生懸命やって当たり前といった気概に満ちた姿。そして多くの教をしっかりと吸収しようとする柔らかで素直な心。それは話を聞いているとき、何かに取り組んでいるとき、一人一人のひたむきなまなざしによく表れていました。象徴的だったのは、文化祭です。それぞれが何役もこなし、晴れの舞台で大きな達成感を味わうとともに、見ているわたしたちにも大きな感動を与えてくれました。まさに「鶯中魂」を見事に体現させました。このよき校風は、きっと新しい学校にも受け継がれていくものと信じます。

この閉校記念誌作成にあたっては、PTAの現会員に加え歴代の会長さん方からもご協力をいただきました。少しでも当時の出来事や雰囲気を取めたい、ということで何度も集まり作業してくださいました。この閉校記念誌がみなさんにとって貴重な思い出を語るものとなり、学校の歴史を長く留めるものになってくれればと思います。限りないあたたかさで子どもたちをはぐくみ、学校を支えてくださった鶯沢の地域の皆さんはじめ、この記念誌を手にする全ての方々に心から感謝を申し上げます。

栗原市立鶯沢中学校閉校記念誌



発 刊 平成25年3月
発 行 栗原市教育委員会
企画・編集 栗原市立鶯沢中学校PTA閉校準備委員会
栗原市立鶯沢中学校



